

NPO法人

こおりやま子ども若者ネットワーク

こおりやま子ども若者ネットワークとは

こわかネットは主にこおりやま広域圏で子ども若者に関わる団体・個人で組織するネットワーク体です。ネットワークには2025年10月現在、33団体・個人が加盟しており、フリースクールや就労支援、子ども食堂、貧困支援、傾聴ダイヤル、発達障がい、女性支援、性教育、親亡き後支援等様々な分野で活動する方々があり、事業体として運営している団体から市民活動としてボランティアに活動している方まで様々です。こわかネットは、子ども若者に関する社会的排除を解決し、彼らの「参加」「自己実現」「多様性」を尊ぶ地域社会の実現を目的としています。



取り組み紹介

車座会議



加盟団体・個人の相互理解を深め、この地域における子ども・若者課題を発見し、学び合い、新たな取り組みや連携を生み出していく機会づくりのための会議を実施しています。

テーマ別学習会 K-Labo



加盟団体・個人が提案、企画、運営を行うテーマ別学習会を実施しています。これまでに「不登校」や「セクシャルマイノリティ」、「発達障がい」、「若者の参画」など様々なテーマで開催しています。

その他の事業



ゆ〜くる通信に掲載しているユースセンター事業やひきこもり相談支援センター事業の他に校内居場所事業や出張講座・ワークショップの運営、講師派遣・研修運営、広報・啓発活動などを実施しています。

回覧

ゆ〜くる通信 第4号

2026年4月24日

こおりやま子ども若者ネットワークセンター「ゆ〜くる」とは



こおりやま子ども若者ネットワークセンターは、子ども若者に関わる33の団体・個人が集まって構成されるネットワーク拠点をベースに、若者世代の地域活動・地域参画拠点としてのユースセンター事業、県内全域・全年齢を対象としたひきこもり地域支援拠点としてのひきこもり相談支援センター事業の3つの役割があります。

ユースセンター
若者世代の
地域活動・地域参画拠点

福島県
ひきこもり
相談支援センター

こおりやま
子ども若者
ネットワーク拠点



ひとりで悩まず
まずは
ご相談ください



ユースセンター事業は、10～20代の若者を対象に、週3回自由に過ごせる場を若者たちとともにつくっています。若者たちのやりたいこと、想いや願いを形にしていくことを大切にしています。

福島県ひきこもり相談支援センターは、福島県から委託を受け、「ひきこもり」に関する相談を県内全域・全年齢を対象に受け付けています。本人向けの居場所活動や家族会の運営等も開催しています。

こおりやま子ども若者ネットワークに加盟する団体や個人の情報が集まりヒトが出入りするネットワーク拠点です。団体・個人が集まり情報交換を行う車座会議や学習会等を開催しています。

スタッフ紹介 六角 奈々恵



ひきこもり相談支援センター業務を担当しています六角です。ここで少し私の好きな曲の歌詞を紹介したいと思います。
♪誰の真似もすんな 君は君でいい 生きるためのレシピなんてない
by Mr.children
写真の山を登っている最中はとても辛くて何度も引き返そうと思いましたが、登頂したときの達成感は今でも鮮明に覚えています。登山は人生という言葉がありますが、自分だけのゴールを目指し自分のペースで歩くこと、過去や未来よりも「今この瞬間」がなにより大切だということを実感しました。

こおりやま子ども若者ネットワークセンター「ゆ〜くる」
住所 福島県郡山市神明町16-8
電話 024-955-6204
024-955-6203(ひきこもり相談用)
Email info@kowakanet.or.jp

ゆ〜くる通信の感想をEmailに送っていただくと嬉しいです!

ひきこもり相談支援センター

ユースセンター「ゆ〜くる」

ゆ〜くるの日常

合同コミュニケーションの様子



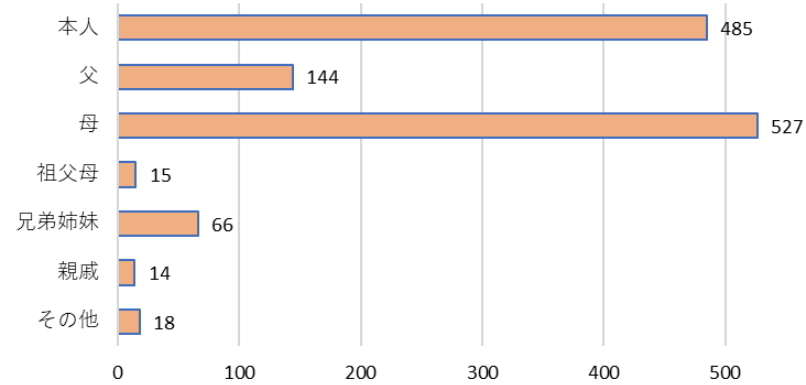
ひきこもり相談支援センターでは、ひきこもり当事者の方を対象とする居場所活動の一環で「合同コミュニケーションワーク」というものを毎月1回開催しています。ここでは様々なテーマに沿って対話をしたり、ゲームをしたり、時には料理をしたりなど、活動を通して他者との交流を体験する機会を設けています。最近では「このことについてみんなの意見を聞いてみたい」と話題を準備してこられる方もいます。「この人ともっと話をしてみたい」と、参加者同士での交流も少しずつ始まっています。



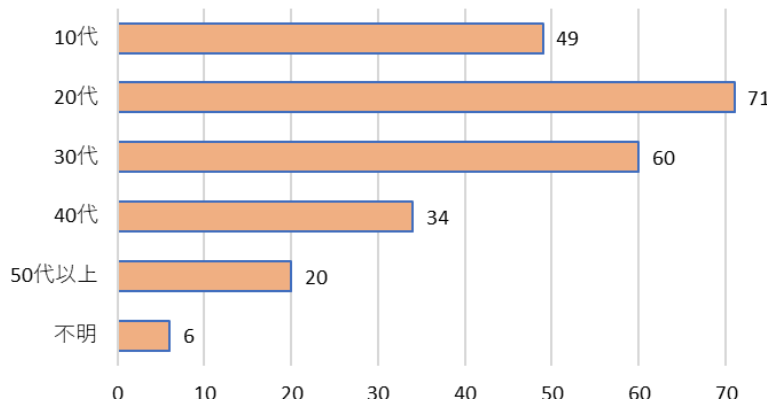
ゆ〜くるでは毎月1回、若者たちと協同の運営会議 YYみ〜ていんぐを開催しています。YYみ〜ていんぐとは運営(ルールや備品や企画など)について大人も若者も混ぜてわいわい話し合い、大人の意見で決めるのではなく若者の意見も聞いて共に社会(ゆ〜くる)を作っていく会議です。最近では、閉所前の掃除の開始時間を「10分前にするか15分前にするか？」などの議題がでてみんなで議論し、「やってみよう!」、「どうだった？」の話し合いが進められています。

2025年度の統計

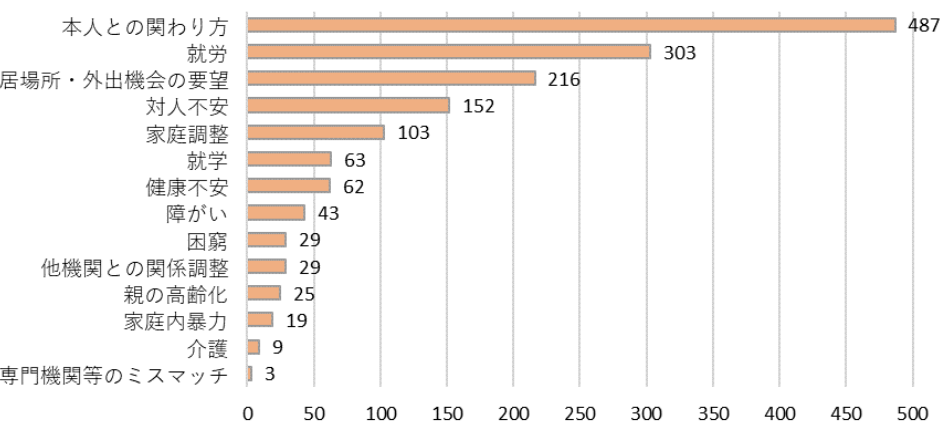
相談者(延べ数)



ひきこもり状態にある本人の年齢



相談内容



昨年度と比較するとご本人からの来所相談が増加傾向、またご家族からの相談では父からの来所相談が昨年度よりも増加傾向にありました。相談内容では昨年度と同様、本人との関わり方が一番多かったです。

ひきこもり状態にある方の年代は男女共に20代が一番多く、来所されるご家族の年代は40代~60代が昨年度とほぼ変わらない人数でしたが、70代80代のご家族からの相談が増えています。

イベントの報告

若者主催で国際交流のお花見を行いました!



若者発信で、外国の方に日本のお花見の文化を教えることを目的とした国際交流イベントを行いました。当日は、外国の方7人、日本の方3人の、10人がお花見をするために集まりました。イベントの最初は、場を和ませるジェスチャーゲームのアイスブレイクから始まりました。言葉が伝わりにくい中、日本語と英語以外にも、ジェスチャーを交えた非言語コミュニケーションを楽しんでいました。お花見の歴史、お互いのお花見についての情報交換を経て、お花見で食べる、ちらし寿司と三色だんごを調理しました。様々なコミュニケーションを駆使し、雑談を交えながら楽しく調理を成功させていました。調理のあとは、待ちに待ったお花見です!場所を公民館から公園に移し、満開の桜の下でお花見をすることができました。交流をしたり、桜の写真を撮ったり、作った美味しいちらし寿司と三色団子を食べながら国際交流を楽しみました。

